

## 環境と調和した食育推進事業

【団体名】蕨市母子愛育会

【担当部署】保健センター、市民協働課

【提案型】指定テーマ

### 1. 事業の目的

環境と調和した食育を推進することと同時に、環境に対する意識の向上を図る。

### 2. 実施内容

「食と環境キッズフェスタ」の実施

日時：令和6年12月7日（土）

場所：蕨市中央公民館

参加者：のべ150人

概要：SDGsキッズ講座「食品ロスってなあに？」の実施

（1回目：27名 2回目：20名 参加）

みんなの食堂（食品ロスに配慮したカレーや豚汁の販売）

食と環境のパネル展示およびクイズの実施

チャリティー3Rマーケットの実施

↓キッズ講座の様子



### 3. 役割分担

団体：事業の企画運営に関すること

市：広報、パネル・チラシ等作成補助

### 4. 事業費と主な支出内容

(1) 事業費：総額 122,827円（うち蕨市SDGs推進事業補助金 100,000円）

(2) 支出の主な内容

講師および出店団体謝礼、印刷製本費（チラシ印刷）、消耗品費（エコ紙食器、ビニール袋、みんなの食堂用材料等）等

### 5. 協働による効果

SDGs推進事業として、団体と保健センター、市民協働課の三者で事業を実施したため「食品ロス」や「地球温暖化」など複数のブースを展開することができ、食と環境について幅広く周知・啓発することができた。また、蕨市母子愛育会の働きかけにより市内の婦人会の皆さんにもご協力いただき、「みんなの食堂」という（食品ロスに配慮したカレーや豚汁を注文できる）ブースが実現し、環境と調和した食育の推進を行った。

### 6. その他の成果・感想・今後の課題など

#### 【団体より】

SDGsキッズ講座の実施にあたり、講師の選定から前座の依頼までを慎重に行い、難しい内容でも子どもたちが参加してくれるように努めた。イベント全体を通してクイズを多く取り入れたところ、参加者の保護者から「クイズが多くてよかった」との感想もいくつかいただいた。食品ロスに配慮したカレーや豚汁を提供した「みんなの食堂」もキッズ講座終了後には満席となり、おいしいと言う声もたくさんいただいた。子どもに対してのSDGs推進の仕方を考えるのは難しかったが、なんとか無事に終えることが出来てよかった。

#### 【担当課より】

年齢によっては内容が難しいかと心配もしたが、講師がクイズを交えたわかりやすい講座を行ってくれたり、実際に会場で食品ロスに配慮したカレーや豚汁を食べることができたりと、母子愛育会の皆さんが内容を工夫してくださったおかげで、子どもたちのアンケートには「家で食品ロス対策してみたい」「これからは食べられる量を頼んで食べるようにする」としっかり趣旨を理解した感想が書かれていた。食と環境に対して興味関心を持つきっかけとしてもらえたと感じる。